

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介いたします！

取材：営業部 営業企画支援課

お客様の
ご紹介

社会福祉法人浩仁会様

インクジェット機を施設のメイン機として運用！？

当法人は、関連施設含め全部で6施設あり、レーザー複合機(25枚～35枚機)をメイン機として施設内の印刷をまかなっています。各施設で使用する通信や案内のカラー印刷は法人本部の高速印刷機にて対応していましたが、施設内のモノクロ印刷は各施設の機械を使用することになっているため、事務職員や現場の介護職員の使用が重なる時間帯は印刷渋滞が起きやすく、またコピーのファーストプリントも遅いことから現場で課題となっていました。レーザー複合機が故障をしたタイミングに、コスト見直しと環境改善の両方を兼ねる機械としてご紹介していただいたのがEPSONの高速ビジネスインクジェット複合機LX-7000Fでした。スピード・コストは申し分ない機械ではありましたが、提案していただいた当初は法人内でインクジェット機はレーザー機と比較すると淡い色味で文字がぼんやりしてしまう・裏抜けがしやすいというイメージが先行していたため、メイン機をインクジェットして大丈夫なのかという不安がありました。実機での印刷確認、各種印刷サンプルを確認させていただき、レーザー機と遜色ない印刷の仕上がりと、解像度の高さに従来のインクジェット機とは一線を画く機械であると認識し導入を決めました。最初に導入したメディカルケアセンターIBでは月間印刷枚数が1万枚ありますが、従来あった印刷渋滞も現在はまったくといって良いほど無くなり、トラブルも一切なく使用できていますよ。操作パネルが従来よりもかなり大きくなったり、操作性が向上したと現場から評価が高いですね。現在法人全体では6施設中4施設がEPSONのLXシリーズをメイン機として使用しており、施設の業務効率アップに貢献していますね。



特別養護老人ホーム尚和園様

LX導入による変化

施設では毎年、一定の時期に事業計画報告書(両面40枚：A3サイズ：小冊子)の作成がありますが、印刷枚数が多いため従来機ではかなり時間と労力をかけて作成していました。現在では、スピードが速いLXにすべて任せていますね。事業計画報告書以外では、環境の変化によって職員の資格取得のための施設内研修が多くなってきていることもあります。研修資料を各施設で印刷することが増えましたが、ページが多く作成する部数が多い場合でも印刷スピードの速さに大変助かっています。正直、導入時はここまでスピードが必要なのかという声もありましたが、現在では職員の働き方改革の一環で印刷スピードは必要不可欠だと感じますね。

LXは、297mm×1,200mmの長尺印刷も1カウントのコストで印刷ができると聞いています。コストも安く、イベントやレクリエーション、施設案内などの垂れ幕を作る際には張り合わせる手間もなくなるので、どんどん活用していきたいですね。



メディカルケアセンターIB様

環境に配慮した機械

LXは、インクジェット機ということでレーザー機とは違い熱を発させないので、省電力での運用が可能なのはもちろん、施設のメイン機で使用した場合に事務所内に熱がこもることがなく、高速機でありながら静音で使用が出来てありがとうございます。法人全体ではPCや小型プリンターなどの管理台数が多く、消費電力はバカにならないのでLX導入によって環境に配慮出来ているのは嬉しいことです。法人としてLXに一元化出来るものは最適配置を考え実施していきたいですね。

営業担当者の声

職員様の印刷作業の負担を軽くし、入居者様のケアに充てる時間を確保できる事とご家族の皆様に分かり易く情報をお伝えする事を両立できれば



営業担当：後藤章元

との思いでご提案させていただきました。他枚数、多部数印刷時には未導入の施設の職員様が来られ印刷されているとお聞きし、便利にご利用いただきとても嬉しく思います。